

# 櫻だより



氷見市立北部中学校  
校長室から  
令和7年6月24日

## みんなで一つに・・・

なんだか、世界情勢がきな臭い。

「核兵器が完成しそうだから」と、近くの国の核関連施設を攻撃。  
数年前に北の大国は、「西側勢力が我が国を脅かしそうだから」と、隣の国に攻め入る。  
こういう理論がまかり通ると、日本の近くの国も同じことを行いそうで怖い。  
国際平和と安全に責任あるはずの国連安保理は、あまり効力がないように思える。  
これって、第二次世界大戦前に国際連盟が形骸化し、大戦に突入した様子と似ているのか？  
今後、世界各国を巻き込む争いにならないか、不安である。

先日、本校の卒業生が所属するバンドが、横浜で復活ライブを行うということで応援してきた。  
5年半ぶりのライブということで、全国各地からファンが集まっていたらしい。  
昨年、本校の50周年式典で講演いただいた海乃さんや山口さんも来ていた。  
復活を祝福するライブだったが、演奏曲の中には「戦争は儲かるか？ 平和はごみか？」と戦争を皮肉った曲も歌われた。

また、合間のMCでは、

**「目を瞑ってしまいがちだけど、世の中では人を殺したり、殺されたりってことが実際に起きてる。アーティストがこういうことに口を挟むと冷めるって人もいると思うけど、やっぱり命は大事。失ったものは帰ってこない、絶対に。」**と語った。

4年前にバンドメンバーを一人失ったから、命の大切さを語る一つ一つの言葉は重い。

テレビや新聞では「ミサイル攻撃により〇〇人が死亡」と人の命が数字で表される。  
その亡くなった一人一人の命には、それぞれ家族や友達、同僚等、多くの命が繋がっている。  
かの国の指導者は、大切な人が戦争によって失われる悲しみを想像できないのだろうか。

再びライブの話。

よくある音楽ライブでは、ハンドクラップや手の振りと同じことを求められる時がある。  
だけど、先日の横浜のライブでは、

**「みんなで一つに・・・なりません。なっても意味がありません。それぞれ楽しんでください、よろしく！」**と、それぞれ楽しくやってよ、という感じで自分たちも楽しんで演奏する。  
「一つになりません」とはいうものの、1万人超の観衆は一体感ある空間を作り出していた。  
会場の三階席から眺めながら、一体感を生み出しているこの空間が本当に素敵だなと感じた。

世界もこんな感じにならないだろうか。

世界が一つの国になる必要はない。一つになっても意味がない。

考え方や宗教が異なっても、それぞれの国をリスペクトし、お互いの国との距離感を大切に  
にして、地球という限られた空間で生活するライブを楽しむ。

そんな世界になればいいのになあ。

以上、本校卒業生応援ツアーのレポートでした。